

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念を基に、事業所独自のスローガンとして、「お互いに思いに寄り添い繋がるグループホーム」を掲げ、実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策のため、地域との繋がりはほとんどなくなってしまっているが、敬老の日に自治会から花を頂くなどの交流は続いている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策のため、会議は実施していない。電話や書面にて報告をしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上の手続き等で市の窓口を訪問している。市の担当者からのメールを必ず確認し、必要に応じて回答や質問を送信している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束については、法人主催の研修に定期的に参加し共有している。自らのケアを振り返り、不適切な言動を見直すことを目標に掲げ、実践している。センサー対応の利用者については、カンファレンスにて話し合いをし今後に向けて検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人主催の研修で定期的に学び、共有している。不適切と思える言動は職員同士が注意し、スピーチロック等のヒヤリをあげて振り返り防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度を利用している入居者もいる。必要があれば案内もしている。法人の研修で学ぶ機会がある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退居時や契約事項の改定がある時は、納得されるまで丁寧に説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの作成時に必ず家族に意見、要望を聞いている。年1回アンケートで匿名の意見も聞き、運営改善に活かしている。各フロアの玄関にはご意見箱を設け、随時ご意見をきく体制を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月実施する会議や日々の中で随時意見や提案を聞いている。年2回の個人面談でも意見や思いを確認している。話やすい場面を作ったり、環境作りにも心掛けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の自己申告、力量評価時に個別に面談している。日ごろから声掛け等をして、向上心を持って働けるよう心掛けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人のキャリアパスシステムに沿って、職員の力量に応じて学ぶ仕組みがある。毎月の会議でも研修を実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症カフェに利用者と共に参加していたが、現在はコロナ感染対策のため参加できていない。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共に支え共に生きるという考え方を大切にしている。 住み慣れた環境に近づけ、安心できる環境でここでの生活に提供いただけるよう配慮している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策のため、ほぼできておらず。徐々に面会等の制限は解除されてきているため、今後はコロナ前のような状態に戻るよう努力していきたい。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度希望を聞くよう心掛けています。また職員間でも情報共有に努めている。定期的に一人ひとりの希望や思いについて考える機会を設けて把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン作成時には必ず本人、家族、主治医、訪問看護師、その他関係者から意見を聞き、プランに反映している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランに沿ったケアを実践し、その結果や気づきを記録している。日々の申し送りでも情報共有を行っている。状態変化等があれば、職員間で話し合い介護計画の見直しを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大により、ボランティアなどの外部サービスの利用は控えているが、社内の他職種の利用は行っている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ④ほとんどできていない	地域のボランティアや認知症カフェなどを利用していましたが、コロナ感染対策のため中断している。			

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医や緊急時の搬送先の希望を事前に確認している。家族と医療機関の連携に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時に介護サマリーを提出し、情報の交換や共有を図り、状態を確認している。また、家族や本人の意向をふまえ、早期退院できるように努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人・家族に定期的に意思を確認している。必要時には主治医や関係者を交えて話し合いを行い、チームで支援している。ターミナル前後には医療連携関係、職員を交えてカンファレンスを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員が普通救命講習を受講し、緊急時の対応の知識を会得している。法人の研修で医療について学ぶ機会がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人の研修や回覧で災害時の対応について学んでいる。2ヶ月に1回消防訓練を行っている。また、年に2回は消防立会いのもとで、消火器の使い方等の訓練を行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者のペースでゆっくりと関わり、ひとりひとりに合った方法でさりげなくトイレ誘導をしたり、人権やプライバシーについても配慮している。定期的に勉強会を実施し、日頃のケアを振り返る機会を設けている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望、意向を確認しながら、なるべく本人のペース、タイミングを尊重している。ひとりひとりのペースや希望にそった支援を心掛けているが、業務に追われていることもある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策のため、現在利用者は調理にはほとんど関わっていないが、楽しく食事できるように心がけている。何が食べたいか好みを聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	チェック表にて食事量を把握し、主治医とも連携をとりながら健康管理を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. ④十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科よりケアの方法などの助言を受け、口腔ケアを行っている。利用者に能力に合わせたケアを提供している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や排泄介助を行っている。個々に合った支援方法や排泄用品の見直しを行いながら、トイレでの排泄が継続できるよう検討している。 医療職と連携し、便秘等の予防に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があれば回数を増やすなど配慮しているが、曜日や時間帯は概ね職員が決めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. ④十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的には自由に休息してもらっている。一人ひとりの様子を見て休息の支援を行っている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の効き方や用量などについて、職員間や医療職とも積極的に話し合い、変更があった時は報告・回覧して周知している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の望み、したいこと、得意なことを踏まえ、日々の生活で力を発揮できるようケアプランを作成し、支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナのため、遠くへの外出へできないが、ホーム周辺やご家族さんとの外出ができるように支援している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現金の所持を希望する利用者には家族の了解を得て持ってもらっている。また、必要時には使えるお金があると伝えている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の了解を得た上で電話を掛けられるよう支援しているが、自ら希望する利用者に限られる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合わせた壁飾りや作品作り等を利用者と行い四季を感じていただけるような取り組みをしている。利用者の個々の過ごし方に合わせて座席や共有のソファの配置を工夫している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン作成時に本人の希望を聞いて反映している。日々の言動から思いを探って共有している。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から聴き取った生活歴、習慣などの情報を大切に、ケアプラン作成や日々の生活に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝バイタル測定を行い、体調に変化が見られる時は医療職に相談するなど、迅速な対応に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事など他者と合わせてもらうことはあるが、なるべく本人のペースで生活できるよう支援している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になじみのものを持ってきてもらうよう伝えている。家族の写真など大切なものをよく見える場所に置くなど配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策のため外出は控えているが、室内行事やレクリエーションに参加できている。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活でできること・できないことを探り、特にできることに着目して役割や楽しみが持てるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しく会話することの重要性を意識している。意思疎通が困難であっても話しかける機会を多く持つようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染拡大のため、現在地域との交流はほとんど無くなっている。			

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流はとれていないが、職員に対しては親しみや安心感を持ってもらえていると感じている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
----	----	--	---	--	--	--	--